

企業内人権教育啓発誌

妙蓮

みょうれん

Vol. **38**
2024
1月発行



守山市企業内人権教育推進協議会シンボルマーク

守山市企業内人権教育推進協議会

編集発行人 北野 悟

http://city.moriyama.lg.jp/sangyo_business/shoukougyo/

人権啓発DVD NEW

「心をつなぐ、はじめの一步」 誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ②

この教材では、『ハラスメント』をはじめとした職場における人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、互いに認めて尊重する気持ちの大切さを、主人公と共に学んでいきます。職場の誰ひとり取り残さないために、さまざまな人権課題を自分事としてとらえ、誰しものが生き生きと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？ドラマを通して『心をつなぐ、はじめの一步』を踏み出すヒントがもらえます。
【制作2023年 上映時間26分】



「人権のすすめⅡ」

この教材は、職場におけるさまざまな困りごとや課題をテーマに取り上げ、それぞれ独立したミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題やコミュニケーションの課題を学んでいく映像教材です。
・テレワーク時代のコミュニケーション編
テーマ「ハラスメント」他
・アンコンシャス・バイアス&マイクロアグレッション編
テーマ「多様性」他
・心理的安全性編
テーマ「働き方」「人材育成・マネジメント」他
【制作2023年 上映時間24分】



企業・事業所内での人権啓発に是非ご活用ください。

次年度役員改選について

令和4・5年度の役員の方々が2年間ありがとうございました。令和6年度より輪番制6期に入り、役員改選となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)

チェックシート

★あなたが「そう思う。」と思う設問に✓をいれてください。

- 外国人が、日本語でスムーズに会話をしていると驚く。
- 男性がデート代を負担するのは当然だ。
- 高齢の方は、SNSやパソコンが苦手である。
- 【名刺交換の場面で】中高年男性と若い女性がいた場合、上司であろう中高年男性から名刺を交換する。
- 上司が女性の場合、感情的でやりにくそうだ。

いくつかチェックがつかまりましたか？これらはすべて、アンコンシャス・バイアスと言われる、無意識、無自覚の思い込みや偏見の可能性のある事例です。人間は、過去の経験や、周囲の評価から無意識にものごとを決めてしまうところがありますね。

さあ、啓発DVDを視聴して、世の中や自分の心にある「アンコンシャス・バイアス」について気づききっかけにしてみましょう。

◆今後の行事予定

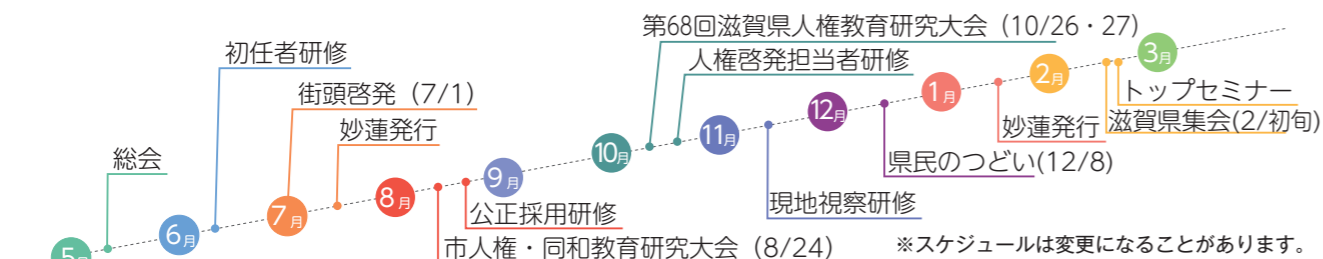
●第38回トップセミナー

- ・日 時 令和6年2月20日 (火)
午後1時30分～午後3時30分
- ・場 所 守山商工会議所 201号室
- ・演 題 「ハラスメントのない職場環境に向けて」
- ・講 師 三木 啓子 さん
(アトリエエム株式会社 代表取締役)

会場参加、オンライン参加
どちらもOKです。
みなさまのご参加をお待ちしています。

事務局からのお知らせ 令和6年度事業 年間計画

守山市企業内人権教育推進協議会では、年間を通して様々な研修会等の事業を実施しています。令和6年度事業につきましても、下記のとおり計画を予定していますので、積極的なご参加をお願いします。



発行元 守山市企業内人権教育推進協議会 事務局：守山市役所 商工観光課内

TEL:077-582-1131 FAX:077-582-6947

✉ shokokanko@city.moriyama.lg.jp 〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

◆第10回事業所内人権教育公正採用研修会報告

- ・日時 令和5年8月23日（水）午後1時30分～午後3時
- ・場所 守山商工会議所 201号室
- ・参加者 37社55名（オンライン参加者 含む）
- ・演題 公正採用のルールから学ぶ基本的人権
- ・講師 「ダイバーシティ&インクルージョンの推進に向けて」
よしかわ ひろし
吉川 弘 さん（大阪企業人権協議会 企業人権協サポートセンター）



人権に関する基本的な考え方や、日常にあふれるアンコンシャス・バイアス（無意識・無自覚の偏見）について教えていただいたあと、公正な採用選考を行うために配慮すべき事項として、就職差別につながるおそれのある14事項の考え方や、どのような場面で不適切な採用選考が行われがちかなどについて丁寧に教えていただきました。

また、性別を理由とする募集・採用時の差別の禁止や、障がい者・外国人・性的マイノリティの方に配慮した面接、職場での対応についてなど、個別の事項についても、分かりやすく教えていただきました。

アンケートより抜粋

- 自分自身、決めつけや思い込みがあったり、固定的な考え方をしてしまったりしていることに気づかされました。
- 採用の面接に携わることが増えてきたため、改めて、してはいけない質問事項を確認できてよかったです。無意識に発言してしまわないよう、今後も理解を深めていきたいです。

◆第46回事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会報告

- ・日時 令和5年10月24日（火）午後1時30分～午後3時30分
- ・場所 守山商工会議所 201号室
- ・参加者 40社49名（オンライン参加者 含む）
- ・演題 発達凸凹、発達障害の特性を活かすには～当事者の立場から～
- ・講師 ひろの
広野 ゆい さん（NPO法人DDAC 発達障害をもつ大人の会 代表）



ご講演いただいた先生自身が発達障害…それ故に発達障害者の感じている事、周りにわかってほしい事等が、明確で納得できる研修会でした。就労場面においても、仕事の指示が通りにくい時、様々な要因（障害者本人の状態や気持ち、原因となる特性）を探り、合理的配慮を考え、「障害者本人だけでなく周囲の人、さらには全体がやりやすくなるシステムを作ること」といったポイントを教えていただきました。

講師の先生の明るい話し方、肯定的な考え方に、どんどん惹きつけられ、もう講演会が終わり？もっと聞きたい、と感じた有意義な研修会でした。

アンケートより抜粋

- 発達障害についての理解不足によって、接し方を間違っていたことに気づきました。今後、職場の環境づくりに役立てたいです。
- 「相手のできないところではなく、できるところを探す」ことを、会社や、子育ての中で今日から実行していきたいと思いました。

◆現地視察研修会報告

- ・日時 令和5年10月17日（火）午前8時20分～午後5時50分
- ・研修先 午前 多武峰 談山神社（奈良県桜井市）
午後 水平社博物館（奈良県御所市）
- ・参加者 9名 事務局2名



午前中は、大化の改新の舞台にもなった歴史深い土地に佇む、多武峰 談山神社を拝観しました。公開期間ではなかったのですが、特別に『談峯如意輪観音菩薩坐像』を開帳していただき、ご利益がある観音様の足を、代わる代わる撫でさせていただきました。

午後からは、人間の尊厳と平等をうたいあげた全国水平社の発祥の地に設立された、水平社博物館を訪ねました。ガイドの方が持参してくださった写真から、部落差別の悲惨さを知ることができ、「人を上から見ては、差別はなくなる」との言葉は、人権学習というだけでなく、日常生活でも心に刻まなければいけない言葉であると感じました。

当日は、紅葉には少し早かったのですが、天候に恵まれた爽やかな日でした。文化や人権についての学びに触れるとともに、参加者同士の絆を深めることのできる一日となりました。

参加者アンケートより抜粋

- 急勾配の坂には閉口しましたが、パワー一杯の自然の中で歴史のさまざまを感じながら、如意輪観音さまにも出会えてうれしかったです。
- 歴史を知ること間違いをたやすことの大切さについて改めて気づきました。

◆人権学習の取り組み

●大崎設備工業株式会社



大崎設備工業株式会社は、1969年に守山市下之郷で設立し、2024年に設立55周年を迎えます。「水と空気と安全」をテーマとして、空調設備工事、給排水衛生設備工事、機械器具設置工事の3つの工事を柱として守山市中心に滋賀県内全域で病院、学校、工場など様々な大型施設の設備工事を施工し、人々が生活できる快適な住環境づくりに取り組んでいます。

人権啓発への取り組みとしては、毎年11月に全社員が集まる月例会議において人権学習会を開催し、滋賀県・守山市が開催する人権研修会についても出来るだけ多様な人が参加できるように社員に開催の連絡をして参加しています。会社としても世代交代を迎えてお

り、新たに採用に関わる者への研修や人権担当者の引継ぎ等の研修を計画・実施しているところです。

社内におけるハラスメント等の体制としては、社員が気軽に相談できる組織づくりと各部門からも運営会議でハラスメント等がないか経営層へ毎月報告し、社員が安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

当社は建設業であるため、受注した現場の請負先により働き方が左右されます。例えば大手ゼネコンの下請工事であると独自のシステムを理解するのに時間を要する場合や、突貫工事のように時間的に余裕がない現場などもある為、偏りが少なくなるように複数人複数現場の配置や現場パトロールの定期開催など、出来るだけ一人で孤立しないような作業所環境づくりに取り組んでいます。最近では各現場担当者にタブレットを貸与し、作業の進捗や問題点が遠方からでも上司が確認できるよう社員一丸となり、IT導入を進めています。

また、働き方改革関連法に対しても改正等の施行日まで、社内浸透できるよう先行して就業規則等を改定し、内容理解の為に勉強会を実施しています。

今後も社会の変化及び人権の在り方を会社単位で、継続的に意識して社会に貢献できるように事業に邁進してまいります。

●三和精機株式会社 滋賀製作所



弊社では、本社が名古屋に事務所を構えており、昭和29年の創業以来、半世紀に渡り、お客様の信頼のもとに一步一步確実な歩みを続けてまいりました。

製品としては精密切削工具、工作機械をはじめ、測定器、治具、ツーリング等、製品を加工する為に必要な商品の販売、また最近ではエネルギー、環境分野の製品販売にも力をいれ、お客様に「使い易い工具」「使い易い設備」そして「使い易い環境」をご提案出来るよう努力いたしております。

滋賀製作所は、昭和57年（1982年）4月守山市勝部に工作機械のオーバーホール専門工場として設立しました。

事業としては主に工作機械のオーバーホール・レトロフィット・部品加工を行っており国内・外メーカーの老朽化した機械に対して、当社の技術を加え新品同様に甦らせます。また、レトロフィットのノウハウを生かし設備の開発製造も手掛けております。

「モノづくり」を行うお客様の「こんな製品を作りたい」という夢を、お客様と一緒に考えて行動し「カタチ」にする。それが私たち三和精機の仕事です。

人権啓発の取組としましては、行政機関主催の研修会への参加、会社内ではコンプライアンス研修を定期的開催しております。

また、風通しの良い職場づくりを目指し、年数回の個人面談の実施。所内ではハラスメント相談に対応するための窓口を開設しております。高齢者の雇用については経験者のスキル伝授を目的に積極的採用を行っております。このような取組みから働きやすい職場づくりに努めてまいります。



三和精機株式会社 HP